

**令和 6 年度（第 3 回）
福岡市総合図書館運営審議会**

日 時：令和 7 年 3 月 2 8 日（金）

午後 1 時 3 0 分

場 所：福岡市総合図書館 第 1 会議室

〔 次 第 〕

1 議題

- （1）令和 7 年度事業計画について
- （2）福岡市総合図書館ビジョン（第 2 次）について（方針骨子を協議）

2 報告事項

令和 7 年度当初予算及び機構について

【特記】

運営審議会での意見を踏まえ、
議題 1 の資料を一部修正

福岡市総合図書館運営審議会委員名簿

任期：令和6年7月9日から令和8年7月8日まで

委嘱区分	氏 名	役 職 名
学校教育 関係者	木下 博子	福岡市立小田部小学校校長
	森 正隆	福岡市立玄洋中学校校長
	星子 奈美	九州大学附属図書館 利用者サービス課図書館専門員 (学術サポート室担当)
社会教育 関係者	倚松 満	福岡市七区男女共同参画協議会代表
	貞包 俊晴	福岡市公民館館長会 副会長
	上村 篤子	福岡市社会教育委員
家庭教育 関係者	白川 義人	福岡市PTA協議会 副会長
読書活動 団体関係者	西 聡子	福岡おはなしの会代表
学識 経験者	矢崎 美香	九州女子大学人間科学部 准教授
	白根 恵子	佐賀女子短期大学 名誉教授
	藤村 興晴	BOOKUOKA実行委員会 委員・事務局長
	脇山 真治	九州大学 名誉教授
本市の 住民	田中 優	公募委員
	藤 政江	公募委員

令和 7 年度事業計画について

平成26年 6 月に策定した「福岡市総合図書館新ビジョン」の基本理念である「市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる、新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館」をめざし、魅力ある図書館づくりを推進する。

1 図書資料部門

(1) 図書資料の収集・整理・保存

総合図書館（本館）と各分館との緊密なネットワークを運営し、図書、逐次刊行物の収集の充実に努め、本館での基本資料の一元的保存を行う。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
資料収集の充実	公共図書館としての役割を発揮するため、図書館資料収集方針に基づき資料収集を行う。 また、子どもの読書活動を推進するため、絵本や紙芝居を含めた児童書や子育て支援に関する図書の充実を図る。	通 年

(2) 電子図書館の利用促進

令和 3 年 3 月に開館した電子図書館について、各種機能を最大限に活用し利用の促進を図る。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
電子図書館の利用促進	24 時間どこでも利用可能な非来館型サービス、音声読上げ、文字拡大などの機能を最大限に生かし、普段、図書館への来館が困難な人にも、身近な課題の解決に役立ち、良質で魅力がある本を提供して読書を促進する。 また、令和 6 年度に引き続き、利用回数が無制限で複数人同時利用が可能な新たな児童向けコンテンツを 1 年間の期間限定で導入するなど、利用者ニーズを踏まえた電子書籍のコンテンツの充実を図る。	通 年

(3) 貸出・返却サービスの充実

交通不便等の理由により来館困難な利用者へのサービスの向上を図るため、市中心部、交通結節点、集客施設等を中心に、市内14カ所に図書返却ポスト等による返却可能な拠点を設置するとともに、福岡県立図書館とも相互返却サービスの提供を行う。また、有料宅配サービスを実施する。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
貸出・返却拠点等の新設検討	図書館利用者の利便性の向上を図るため、図書の貸出・返却拠点の新設を検討する。 なお、返却拠点については、現在候補となっている施設管理者と、令和7年度内の設置に向けて協議を進める。	通 年

(4) レファレンスサービスの充実

利用者から寄せられる質問・相談に対し、一般参考、人文科学、社会科学、自然科学、国際、国連などの所蔵資料やオンラインデータベース等の電子情報を活用して、レファレンスサービスの充実を図る。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
電子メールによるレファレンスサービスの提供	利用者がホームページの専用フォームに質問を入力、送信し、図書館から電子メールにより返信する、図書・文書・映像資料に関するレファレンスサービスを提供する。	通 年
レファレンス事例の提供等	レファレンスだよりやホームページに加え、館内への掲示によりレファレンス事例を紹介するとともに、展示やイベント等を通じて情報提供を行うことで、レファレンス窓口の利用促進を図る。 また、ホームページの「資料紹介」で、「図書館推奨資料」による検索機能を活用し、テーマごとのお勧め図書の紹介などを充実する。 さらに、国立国会図書館が実施するレファレンス協同データベース事業を通じて、総合図書館におけるレファレンス事例の中から選択したものを一般公開する。	通 年
国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供	国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料について、総合図書館が設置する端末から閲覧できるサービスを提供する。	通 年

(5) 情報提供の充実

本市関連部局及び国・県等関係機関と連携を図りながら、図書館資料を活用した情報提供などを行う。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
課題解決型支援	ビジネス支援として福岡県中小企業診断士協会と連携した「起業・経営相談会」を継続実施する。 また、SDGsやアジアンパーティなどについての情報提供として関連書籍の特集展示を行うほか、九州がんセンターと協力して医療情報の提供コーナーを設置する。	〔起業・経営相談会〕 毎月 第2・4日曜日

(6) 読書普及活動

読書普及のため、読書活動を支援する講座や講演会等を行う。

市や図書館の広報手段を活用し、効果的な広報に努める。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
こども図書館講座	主に小学4年生以上を対象に、図書館利用に関する基本的知識や図書館の本を利用した調べ学習の方法等を学んでもらい、図書館への関心を高めるとともに、図書館利用の機会づくりとするため、動画「こども図書館講座」を配信する。	通 年
読書活動 ボランティア講座 ・絵本の読み聞かせコース ・ストーリーテリングコース ・スキルアップコース	地域での子どもの読書活動を支えている読書ボランティアの育成と資質の向上及び文庫活動を始めたい方への知識習得や参加のきっかけづくりとするため、3つのコースを設定し講座を行う。	令和7年6月～ 令和8年2月
おはなし会（全館）	乳幼児から小学生を対象に、本への親しみと読書の楽しさを伝え、子どもが本とつながる機会を提供するとともに、幼少期からの図書館への関心を高めるため、絵本の読み聞かせや紙芝居などを行う。	通 年
赤ちゃん向け おはなし会（全館）	0～2歳児と保護者を対象に、絵本に親しみ、お話の楽しさを知る機会を提供するため、わらべうたや絵本の読み聞かせを行う。 また、「福岡市おむつと安心定期便」のスタンプ対象事業として、子育て支援の一助とする。	通 年
ブックスタートの 広報（全館）	乳幼児の保護者を対象に、ブックスタートへの関心を高め、赤ちゃん絵本を開くきっかけづくりを進めるため、「福岡市おむつと安心定期便」で配布された絵本のおはなし会での使用、リーフレット「絵本ふれあいタイム」の配付、動画「赤ちゃん絵ほんのよみきかせ」の配信などを行う。	通 年

大人向けイベント (全館)	成人を対象とした読書会や教養講座等を実施し、読書普及や図書館活用促進を図る。 (例) ツキイチ読書会、大人のための読書会「ヨルドク」、出張おはなし会、哲学カフェ、歴史講座、ビブリオバトル、読み聞かせ講座、健康・医療に関する講演会 など	通 年
企画展示等 (全館)	各館・各部門においてテーマを設定し、テーマに沿った図書の展示やブックリストの配布などを行う。 10月は図書館マンスとし、全館統一テーマを定めるとともに、各館・各部門において、サブテーマを設定し、図書の展示等を行う。	通 年

(7) 子どもへの読書普及

子ども読書活動推進計画等に基づき、子どもへの読書普及を推進する。

市や図書館の広報手段を活用し、効果的な広報に努める。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
読書(本)の魅力発信 「絵本月間の実施」 (全館)	絵本の魅力を子どもも大人も味わうことができる機会をつくるため、12月に設定した「絵本月間」において、絵本を中心に児童図書に関する諸行事を行う。 〈主な展示とイベント〉 ・展 示：「司書が選ぶ100冊の絵本」該当本や新着本等の展示 ・イベント：さまざまな「おはなし会」、工作教室、絵本づくりなど	令和7年12月
モデル児童図書 リストの配布 (全館)	子どもたちやその保護者等に子どもの本を選ぶ目安としてもらうため、各年齢層に応じた本を紹介したリストを毎年度作成し、配布するとともに、本を専用コーナーなどに展示し閲覧や貸出を推奨する。 ※モデル児童図書リストの配布状況 令和7年度は、幼児、小学1・2年生、小学3・4年生、小学5・6年生の4区分を発行し約3,000部を配付するとともにホームページに掲載する。	通 年 (令和7年3月 作成)

子どもの貸出カード作成推進（全館）	授業の一環として図書館見学など様々な場面で、来館する児童・生徒のうち、図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードの事前登録を勧奨する。 また、団体貸出や学校図書館支援センターによる学校訪問などの機会に登録の勧奨を依頼する。	通 年
ヤングアダルト層（12歳～18歳）への働きかけの強化（全館）	ヤングアダルトコーナーを設置し、推薦図書に関するリストを配布する。 また、ビブリオバトル福岡県大会や高校生向け国連関連イベントを実施するとともに、TRPGなどのヤングアダルト向けイベントを実施する。 さらに、電子図書館において、ヤングアダルト層に向けた電子書籍の選書を行い、提供する。	通 年
保護者向け読み聞かせ実践講座の実施（全館）	保護者(予定含む)等を対象に、家庭における読み聞かせの大切さを啓発し、すぐに実践できるよう、司書が選んだ本などを基に本の読み方や本の選び方など、体験的な講座を行う。	各館で年1回
図書館の環境整備の充実（全館）	子ども達が、本を借りる、調べ物をする、情報を集める、新しい知識を学ぶなど、図書館の司書とも関わりながら、主体的に読書活動が行えるように、図書資料の収集・提供・相談に努める。 また、おはなし会など子どもと本をつなぐ機会の充実のため、良好な施設環境の保持・改善に努める。	通 年

(8) 地域読書活動への支援

団体貸出サービスの充実を図り、公民館等の図書コーナー等の運営や環境整備への支援を推進する。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
団体貸出先の拡大	市民局と連携して、未登録の公民館への登録勧奨を行う。また、高齢者施設や病院等の団体貸出の登録についても進める。	通 年
地域読書活動への支援	地域文庫及びボランティア希望者と、公民館等をつなぐ取り組みとしての地域文庫マップの配布を行うなどボランティアの活動を支援するとともに、各公民館と連携し、スタンダード文庫を活用した読みきかせ講座を行うなど一層の活用を図る。	通 年

(9) 各種図書館間協力ネットワークの構築

福岡都市圏図書館、県内公共図書館、大学図書館、専門図書館との相互協力ネットワークの推進を図る。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
福岡都市圏図書館等の広域利用	日常生活圏の広域化に伴い、福岡都市圏の図書館等は、図書の貸出対象の居住者要件を、当該市町居住者から福岡都市圏全体の居住者に拡大しており、制度を継続する。 ただし、電子図書館の利用については福岡市内に居住又は、市内へ通勤・通学している場合に限る。	通 年
福岡県図書館協会の相互貸借	相互貸借の円滑化により図書館サービスの充実を図るため、福岡県内の公共図書館、大学図書館、学校図書館、専門図書館の4団体間で実施している相互貸借を継続する。 相互貸借制度により他都市の図書館、市内の大学図書館などから取り寄せることについては、窓口やホームページで紹介を行う。	通 年
大学図書館とのネットワーク	大学図書館の資料を市民が利用できるようにするため、市内8大学と実施している相互貸借を継続する。	通 年
市関連施設の図書室の相互協力	市関連施設の図書室等との相互協力を行い、利用者サービスの向上を図る。 市議会議員等の調査・研究を支援するため実施している議会図書室への図書資料の貸出を継続する。	通 年

(10) 学校図書館支援センター

各小中学校が、学校図書館を効果的に運用できるように、令和7年度に大幅に増員される学校司書を含め学校図書館関係者を対象とし、「情報」「ひと」「もの」の3点から学校現場のニーズに即した支援を行う。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
学校図書館支援センター	・「情報・ひと・もの」による支援を進める。 情報： ホームページ等による情報提供など ひと： 学校図書館運営に関する相談業務、計画及び要請訪問の実施、学校司書の研修支援など もの： 学習支援用図書の貸出、読書活動や調べ学習に関する助言など ・小学生子ども読書リーダーの育成を進める。 児童の主体的な読書活動を推進するため、動画資料「小学生読書リーダー養成講座」を配信し、学校と連携して子ども読書リーダーを育成する。	通 年

(11) 分館運営

分館では、生活に密着した情報、趣味、娯楽、読み物等の一般図書、児童図書を中心に資料を収集し、館内での閲覧や貸出を行うほか、本館と同様におはなし会等の読書普及活動や各種企画展示等を行う。

また、図書館システムにおいて総合図書館と分館の資料情報を共有するとともに、資料の貸出や返却がどの図書館でもできるよう、物流のネットワーク化を図り、毎日連絡車を運行する。

2 文書資料部門

(1) 公文書等

① 公文書

完結後 30 年を経過した永年保存文書及び保存期間が満了した文書で歴史的文化的価値があるものを収集、整理、保存、閲覧に供する。

また、完結後 20 年を経過した永年保存文書で、保管の委託が適当であるものについては、受託する。

ア 収 集 福岡市の各公文書規程に基づき行う。

イ 整理・保存 資料保存のための燻蒸処理を行い、件名整理及び閲覧制限項目のチェック完了後、検索用目録の作成とマイクロフィルム撮影を行うとともに、デジタル撮影についても検討する。

ウ 閲 覧 完結後30年を経過した公文書を、文書資料室において原則としてマイクロフィルムにより閲覧に供する。

資料の館外貸出は本市職員に限り許可する。

エ 展 示 歴史的公文書の展示を行い、市民の公文書への関心を高める。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
公文書資料目録の作成	令和5年度までに収集・整理した公文書の簿冊及び件名目録を検索用として作成するとともに、PDFファイルにてホームページに掲載する。	令和7年春
歴史的公文書の展示	市の歴史的公文書の整理保存を行っていることの市民への周知を図るとともに、利用の促進を図るため、展示を行う。	令和7年冬
歴史的公文書のデジタルデータ化・情報提供の充実	収集・整理・保存した歴史的公文書等のうち地域資料としてニーズが高い写真などは、内製によるデジタルデータ化を行い、目録や展示以外の方法での情報提供を検討する。	通 年

② 行政資料

主に本市各部局が発行する刊行物等を収集、整理・保存し、文書資料室に配架して閲覧に供する。

また、本市各部局で作成した映像媒体の閲覧提供を行う。

(2) 古文書資料

古代、中世、近世及び近現代の郷土福岡に関する歴史資料を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、調査・研究を行う。

- ① 収 集 購入、寄贈等による。
- ② 整理・保存 燻蒸処理し、収集資料群毎の詳細調査・整理及び資料の補修等を行い、マイクロフィルム撮影をして、検索性目録（データベース）を作成する。
- ③ 観 覧 原則としてマイクロフィルムにより閲覧に供する。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
古文書学講座	古代・中世・近世・近代の古文書学の基礎を学ぶ講座を開催する。	全4回
古文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実	収集・整理した古文書資料の目録データを令和3年度に構築した古文書資料収蔵品データベースに追加し、インターネット配信を行う。 既刊（平成7～令和2年度）の紙媒体による古文書資料目録掲載データについても、順次追加配信する。 また、収集・整理した古文書資料の一部をデジタルデータ化し、館内閲覧に供するとともに、順次データベースに登載する。	通 年
古文書資料パネル展示	郷土・特別資料室内において、所蔵している古文書資料を紹介するパネル展示を行う。	通 年

(3) 郷土資料

近世までは筑前国、近代以降は福岡市を中心とする福岡県内の各分野の資料、及び九州・山口各県の地方史誌等を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、調査・研究を行う。

- ① 収 集 購入、寄贈等による。
- ② 整理・保存 収集資料の分類や装備等（必要に応じて燻蒸処理）を行う。
貴重資料については、マイクロフィルム撮影を行い、閲覧用の複製本を作成する。
- ③ 観 覧 郷土・特別資料室に配架して閲覧に供する。
貴重資料については、原則としてマイクロフィルム又は複製本により閲覧に供する。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
郷土・特別資料室内展示	郷土福岡に関する展示を行う。	通 年

(4) 文学資料

福岡ゆかりの作家等に関する文学資料を収集、整理・保存し、閲覧に供するとともに、実行委員会による文学振興事業等を実施する。

① 資料

- ア 収 集 購入、寄贈等による。
- イ 整理・保存 図書等の収集資料の分類や装備等（必要に応じて燻蒸処理）を行う。
- ウ 閲 覧 郷土・特別資料室に配架して閲覧に供する。
貴重資料は、事前申請により職員立会のもと一部公開とする。
- エ 貸 出 総合図書館 1 階の福岡文学スペースに配架して貸出に供する。

② 文学館事業の実施

福岡ゆかりの文学に関する企画展・文学講座等の事業を実施し、市民の文学に関する生涯学習活動を支援する。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
常設展示	総合図書館 1 階ギャラリーで福岡ゆかりの文学者や文学作品、福岡での様々な文学活動を紹介する。 特に企画展では、文学振興事業実行委員会において企画展図録を作成し、販売を行う。	通 年 (企画展会期を除く)
企画展		隔年 (令和 7～8 年度で 1 回)
定例文学講座 「ももちはま草紙」	気軽に文学に親しんでもらうことを目的とし、文学に限らず、広く様々な分野で活躍している講師による講演会を行う。	随 時
文学館倶楽部	福岡市文学館の館報として発行（無料配布）	年 2 回 (秋春発行)

(5) レファレンス業務

郷土・特別資料室及び文書資料室（総合図書館 2 階）において、各資料に関するレファレンスを行う。

(6) 委員会等

- ① 福岡市総合図書館文書資料収集審査委員会
所管する文書資料収集の適正化を図るため、7 名の委員により本年度 1 回開催予定。
- ② 福岡市文学館資料委員会
福岡市文学館資料の充実と有効活用を図るため、8 名の委員により本年度 1 回開催予定。
- ③ 福岡市文学振興事業実行委員会
文学振興事業の企画と円滑な実施運営を図るため、6 名の委員により本年度 2 回開催予定。

3 映像資料部門

(1) 映像資料の収集・保存

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
映像資料収集事業	次のような映像資料の収集、保存を行う。 (1) アジアに関する映画作品 (2) 福岡に関する映画作品 (3) DVD等の映像資料 (4) その他映画関係資料	通 年

(2) 映像資料の調査・研究

国立映画アーカイブをはじめとする国内外の機関・施設と連携し、映画フィルムの収集、保存等について調査・研究を行う。

(3) 映像資料の公開及び展示等

- ① 映像ホール・シネラ(定員 246 席)で上映する。
- ② ミニシアター(定員 50 席)で上映する。
- ③ ビデオライブラリーのレイアウト見直しにより整備したシネマ・ギャラリーにて、映像資料の展示(ポスター展の開催など)を行う。

(4) 映像ホール・シネラの運営等

主に総合図書館と映像ホール・シネラ実行委員会等の共催で実施している。

図書館が収蔵している映画の上映や特別企画上映、講演会等を実施することにより、市民の映画やアジアに関する理解が深まることを支援する。

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
通常上映	図書館が収蔵しているアジア映画等を上映する。	通 年
特別企画事業	アジア映画祭事業	近年話題のアジア映画を上映する。
	シネマテーク事業	日頃福岡で上映されない映画を積極的に取り上げ、俳優・監督などをテーマに特集を組み、多様な映画を紹介する。
	講演会等	上映する映画に関する講演会等を開催する。
		未 定 (年 1 回)
		通 年
		年 数 回

※ 6 月以降の上映事業については、4 月開催のシネラ実行委員会で決定。

(5) 委員会等

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ実行委員会

福岡市総合図書館映像ホール・シネラでの上映会等を開催し、その運営を円滑に行うため、9 名の委員により本年度 1 回開催予定。また上映作品の詳細や広報活動を検討する 8 名の委員によるプログラム部会を年 2 回開催。

(6) アジア映画の活用

主 な 事 業 名	内 容	実施時期
アジア映画等 貸与事業	総合図書館で収蔵しているアジア映画等を広く活用するため、必要な権利を取得し、貸与用記録媒体を作成して、上映を希望する団体等に貸出を行う。また、公民館等の公的施設での館外上映を実施する。	通 年

4 図書館全体事業

(1) 新ビジョン（基本的運営方針）の推進

項 目	内 容	実施時期
新ビジョンの推進	① 新ビジョン後期（R1～R7）事業計画のうち、令和6年度取組についての点検評価を行う。 ② 令和6年度までの取組の振り返りを行い、最終年度となる新ビジョン後期事業計画を継続して推進する。	令和7年8月頃に評価予定
第2次ビジョンの策定	令和8年度が始期となる第2次ビジョンの原案を作成し、パブリックコメント（意見公募）を実施する。	令和7年度中

(2) 指定管理者の管理運営業務に係るモニタリング

項 目	内 容	実施時期
年次評価 （総合図書館）	総合図書館（施設管理等）における指定管理者の令和6年度管理運営業務についてモニタリングを実施し、評価を行う。	令和7年7月頃に評価予定
年次評価 （東図書館）	東図書館（選書を除く）における指定管理者の令和6年度管理運営業務についてモニタリングを実施し、評価を行う。	令和7年7月頃に評価予定
年次評価 （早良南図書館）	早良南図書館（選書を除く）における指定管理者の令和6年度管理運営業務についてモニタリングを実施し、評価を行う。	令和7年7月頃に評価予定

(3) 効率的で効果的な図書館運営

項 目	内 容	実施時期
次期指定管理者の決定	令和8年度から指定する総合図書館、東図書館及び早良南図書館の事業者を公募し、指定管理候補者を選定する。その後、議会の議決を経て、次期指定管理者を決定する。 （指定期間：令和8年4月～令和13年3月）	令和7年12月頃に決定予定

(4) 施設設備の更新

項 目	内 容	実施時期
総合図書館の施設設備等更新	総合図書館施設について、令和6年度から継続して全館空調更新工事を行う。 また、エントランス及び映像ホール天井について、安全性向上のための改修基本設計を行う。	令和7年度中 （時期未定）

中央図書館の 大規模改修工事	中央図書館が併設される中央市民センターにおいて、大規模改修工事を行う。 中央図書館においては、書架等の配置見直しや閲覧スペースの拡張、閉架書庫の新設などの改善を図る。 中央図書館は、蔵書資料の移動作業等を含め、令和7年9月～令和9年夏に長期休館する。	令和7年10月～ 令和9年夏頃 (予定)
早良図書館関連の 施設設備改修	早良図書館が併設される早良市民センターにおいて、トイレ等の改修工事を行う。 工事の影響により、早良図書館は、令和7年4月～5月の平日は閲覧などのサービスを制限するとともに、8月～9月には臨時休館する。	令和7年4月～ 令和8年1月 (予定)
西図書館関連の 施設設備改修	西図書館が併設される西市民センターにおいて、トイレ等の改修工事を行う。 工事の影響により、西図書館は、令和7年3月～4月に絵本コーナーを一時閉鎖する。	令和6年12月～ 令和8年3月 (予定)
福岡市総合図書館 ホームページの更新	イベントや図書館サービスの案内を行う「総合図書館ホームページ」と、映像ホール・シネラの上映予定、作品内容を掲載している「うえぶシネラ」を再編し、スマートフォン表示や、ウェブアクセシビリティへの対応などを実施する。	令和7年度中 (時期未定)

(5) やすらぎと交流の場づくり

項 目	内 容	実施時期
指定管理者企画事業 (総合図書館)	エントランスホールや正面玄関前広場等を活用し、節句祭、納涼祭、冬フェスタ等の季節イベントや、講座・教室等を実施する。	通 年

(6) 見学・視察の受け入れ

項 目	内 容	実施時期
見学・視察の受入	小学校、中学校、高校、各種学校その他、自治体、図書館関連機関等からの要請に対し、受入を行う。	通 年
バックヤードツアー	一般および親子を対象とした、図書館の裏側を紹介するツアーを実施する。	通 年

(7) 市民との共働

項 目	内 容	実施時期
図書館ボランティア	ボランティア活動を通じた市民活動の場を提供する。	通 年
インターンシップ	大学等からの要請に対し、インターンシップの受入を行う。	夏～秋

(8) 職員研修

項 目	内 容	実施時期
基礎研修	図書館各部門に共通する基本的な知識、ビジネスマナーや接遇、コンプライアンスなどの基礎知識についての研修を実施する。	年 6 回程度
専門研修	図書館職員として必要な専門知識や技術向上を目指した研修に職員を派遣する。	通 年

(9) 危機管理対策

項 目	内 容	実施時期
防災基礎研修	防災対策及び消防設備等の基礎知識についての研修を実施する。	令和 7 年 6 月頃 (休館日実施)
災害時避難訓練	火事・地震を想定した避難誘導訓練と消火器及び屋内消火栓の実地訓練、A E D 操作訓練を行う。	令和 8 年 1 月頃 (休館日実施)

(10) 財源確保に係る事業

項 目	内 容	実施時期
駐車場の有料化	駐車場を有料化しており、休館日や閉館時間帯の利用促進を図る。	通 年
ふくおか応援寄付	「ふくおか応援寄付」による図書館への寄付金について、広報に努める。	通 年
新たな財源確保	ホームページ上のバナー広告やシェアサイクルポート使用料などの新たな財源確保を図る。	通 年

5 広報活動

福岡市総合図書館を広く市民に利用してもらうため、各種媒体による広報を行う。

(1) 紙媒体

名 称	内 容	発行回	配布先／発行数
図書館要覧	他図書館、行政機関への当館の事業報告を目的とし、図書館各部門や分館の利用状況、事業実績、組織・予算などを掲載。	年 1 回	福岡市の関係施設・機関、関連図書館等／130 部
市政だより	図書館事業の市民への告知を目的とし、シネラ上映案内、おはなし会・講演会などを掲載。	月 2 回	福岡市内全世帯
展示インフォメーション	館内各コーナーでの展示、カレンダーでの当日イベント、イベント・講座の参加者募集内容を掲載。	月 1 回	館内配布／各回 200 部（随時追加）
今月の展示資料の案内	総合図書館の主題別部門における毎月の展示において、テーマ概要と展示資料を紹介。	毎 月	館内配布
こどもとしょかんニュース	こども図書館の利用拡大、読書普及を目的とし、テーマ別の本や新刊本紹介、おはなし会や展示のお知らせを掲載。	年 4 回	福岡市関係施設・機関、市内の保育所、幼稚園、小学校等／各回 1,000 部
モデル児童図書リスト	幼児用、小学 1・2 年生、小学 3・4 年生、小学 5・6 年生の各対象別にお勧めの本を紹介。	年 1 回	福岡市関係施設・機関、市内の保育所、幼稚園、小学校等／約 3,000 部
ヤングアダルトブックリスト	中学生・高校生を対象として、読書普及及び図書館の利用拡大を目的に、お薦めの本を紹介。	不定期	総合図書館等／各回 600 部
レファレンスだより	レファレンスサービスをアピールすることを目的に、レファレンス事例を主題別、部門毎に紹介。 また、夏休みは小中高生を対象にした特集号を別途発行。	年 12 回	福岡市の関係施設・機関、関連図書館等／各回 250 部
クンドルニュース	九州国連寄託図書館における国連資料の利用者拡大を目的に、国連資料などを紹介。	年 6 回	福岡市の施設・機関、福岡県内公共図書館等／各回 600 部
古文書だより	古文書資料に関する情報発信を目的とし、新収蔵資料や収蔵資料に関する話題などを掲載。	年 1 回	各県の主な公共図書館、文書館、歴史資料館、文学館等、総合図書館内配布／1,500 部

文学館倶楽部	福岡市文学館の活動のPRを目的とし、文学館のイベントや講座の事業報告、ゆかりの文学者の情報、都市圏の文学情報などを提供。	年2回	福岡市の施設・機関、福岡県内公共図書館等 ／各回3,000部
福岡市文学館常設展示解説	1階ギャラリーで開催する、福岡市文学館の常設展示のPRのため、展示内容について紹介。	年1回	総合図書館内のみ ／1,000部
シネラニュース	映像ホール・シネラのPRを目的とし、シネラの上映予定、作品内容を掲載。	年11回	福岡市の施設・機関、マスコミ、定期購読者等 ／各回8,000部

(2) インターネット媒体

名 称	内 容	発行回	配布先
福岡市総合図書館ホームページ	情報提供を目的とし、利用案内、各種お知らせ、映像資料案内、図書館資料検索などを掲載。	随 時 更 新	
福岡市電子図書館ホームページ	電子書籍の検索・貸出・予約ができるサービスの提供を目的とし、利用案内、各種お知らせなども掲載。	随 時 更 新	
文学館ホームページ	福岡市文学館の活動及び収蔵資料のPRを目的とし、文学館のイベントや講座の情報、収蔵資料データベースを提供。	随 時 更 新	
ホームページ「うえぶシネラ」	映像ホール・シネラのPRを目的とし、シネラの上映予定、作品内容を掲載。	月1回 更 新	
福岡市総合図書館古文書資料収蔵品データベース	収集・整理した古文書資料を、資料名や年代などの項目で、インターネット上で検索できるようにしたもの。	随 時 更 新	
メールマガジン	イベント情報や各部門からのお知らせなどについてメールマガジンを配信。	月1回	メールマガジン登録者
各種ソーシャルメディア	X(旧 Twitter)やFacebook等のソーシャルメディアを活用し、開館情報、市文化施設などとの連携展示情報、イベント情報などを配信。	随 時 更 新	SNS登録者
動画配信	子ども読書活動推進計画の取り組みを進めるため、オリジナル動画「こども図書館講座」や「保護者向けよみきかせ講座」などの動画を配信。	随 時 配 信	

6 研究活動

図書館において調査・研究を行い、その成果を報告するため、研究紀要を発行する。

名 称	内 容	発行回	配布先／発行数
研究紀要	収蔵資料に関する学術的な調査・研究の成果を報告することを目的に、図書館職員による研究論文、資料紹介、展示報告等を掲載。	年 1 回	各県の主な公共図書館、文学館、文書館、歴史資料館等／450 部

福岡市総合図書館ビジョン（第2次） 骨子（案）

議題2

基本理念

未来へつなげる知のひろば

総合図書館は、豊富な知識や情報により、読書の楽しさを提供し、市民の学びや暮らし、地域の活動、社会における課題解決を支援するなど、多様な市民ニーズに応えていく生涯学習施設です。

近年のデジタル化、少子高齢化の急速な進展などの社会情勢の変化に柔軟に対応しながら、市民一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく活躍できる社会を実現し、未来へとつなげるため、生涯にわたって気軽に利用してもらい、知りたいに応える「知のひろば」を目指します。

3つの図書館像	図書館像実現のための基本方針	主な取り組み
誰もが本との楽しい時を過ごせる図書館 年齢や言語、障がいの有無などにかかわらず、訪れた市民がそれぞれの目的に沿って、充実した時間を過ごすことができる環境を提供するため、ハード面、ソフト面の充実や工夫を図り、生涯にわたって市民から選ばれ、活用される図書館を目指す。	居心地の良い空間づくり 誰もが利用しやすいサービスの提供	来館したくなるイベントなどの開催 本館の大規模改修や分館リニューアル、新設時におけるレイアウトの最適化検討 やさしい日本語などを活用したサービスの充実 身近で利用できる団体貸出の拡充
さまざまな知的好奇心に応える図書館 市民一人ひとりが心豊かに暮らせるよう、幅広い知的好奇心に応えるため、探究的学習や社会課題解決などにも寄与する、バランスの取れた図書資料をはじめ、郷土福岡の歴史・文化に関する資料やアジアの映画を中心とした映像資料など、当館特有の貴重な資料の保存と活用を両立した図書館を目指す。	資料・情報の幅広い収集・保存 レファレンスサービスの充実・周知 デジタル化によるサービスの向上 古文書、郷土、文学、映像資料の収集・整理保存と活用	身近なレファレンスサービスの実施 資料のデータベース及びデジタルアーカイブの公開推進 映画監督の講演、資料展示など、直接触れ合う機会の提供 研究者等による講座など学習機会の提供
子どもの豊かな心を育み、支える図書館 子どもの成長にとって欠かせない読書活動を推進し、社会全体で支援していくため、年齢や発達段階に応じて、子どもが本に親しみ読書をする習慣が身に付き、読書の楽しさに触れることができる図書館を目指す。	子どもや保護者を対象とした取り組みの充実（「福岡市子ども読書活動推進計画」の推進） 学校図書館との連携強化	子どもや保護者と本をつなぐイベントの実施 年齢層に応じた情報の発信 学校司書の充実にあわせた支援 電子図書館の学校との連携検討

令和7年度当初予算及び機構について

報告

1 令和7年度当初予算

(単位:千円)

歳出	歳入内訳		
	特定財源		一般財源
	地方債	その他	
1,794,445	0	61,278	1,733,167

歳出内訳

事 項	令和7年度	令和6年度	増減	※参考 令和5年度(決算)
1 給与費等	778,949	724,021	54,928	667,860
2 管理運営費	754,720	715,109	39,611	712,831
一般管理費	157,920	143,166	14,754	148,314
施設管理費	313,198	300,182	13,016	286,518
分館運営費	269,676	254,163	15,513	266,781
映像機器の更新	5,497	7,105	△ 1,608	3,061
学校図書館支援センター運営費	301	315	△ 14	77
電子図書館推進事業	8,128	10,178	△ 2,050	8,080
3 主催事業費	3,923	3,982	△ 59	2,946
講座等経費	794	796	△ 2	491
映像企画事業等経費	512	512	0	512
アジア映画等貸与事業	1,535	1,535	0	1,359
子ども読書活動の推進	1,082	1,139	△ 57	584
4 資料収集経費	106,233	103,195	3,038	95,376
図書購入費	74,108	73,487	621	66,778
図書整理費	21,828	21,828	0	20,377
文書資料整理等経費	9,206	6,788	2,418	6,801
映像資料収集保存等経費	1,091	1,092	△ 1	1,420
5 図書利用サービス費	110,315	93,747	16,568	96,645
一般利用サービス費	104,021	87,804	16,217	92,086
団体貸出運営費	6,294	5,943	351	4,559
6 国連寄託図書館経費	80	74	6	75
国連寄託図書館運営費	80	74	6	75
7 文学館費	3,897	3,910	△ 13	2,705
文学館管理運営費	2,361	2,374	△ 13	2,236
文学館事業費	1,536	1,536	0	469
8 施設整備費	36,328	732,760	△ 696,432	60,962
総合図書館施設整備費	31,513	676,316	△ 644,803	40,954
図書館分館整備事業	4,815	56,444	△ 51,629	19,604
南図書館整備事業	0	0	0	404
合 計	1,794,445	2,376,798	△ 582,353	1,639,400

2 機構

令和7年度

		内 訳	
		職員数	会計年度 任用職員数
総 館 長	人 員	(1)	0
館 長	1	1	0
			0
— 運 営 課	運 営 課 長	1	0
	— 運 営 係	4	1
	— 企 画 係	4	1
— 図書サービス課	図 書 サービス 課 長	1	0
	— 管 理 調 整 係	3	0
	— 読 書 活 動 支 援 係	[1]	4
	— 図 書 資 料 係	3	22
	— 東 図 書 館	0	0
	— 和 白 図 書 館	[1]	6
	— 博 多 図 書 館	[1]	6
	— 博多南 図 書 館	[1]	6
	— 中 央 図 書 館	[1]	7
	— 南 図 書 館	[1]	6
	— 城 南 図 書 館	[1]	7
	— 早 良 図 書 館	[1]	6
	— 早良南 図 書 館	0	0
	— 西 部 図 書 館	[1]	6
	— 西 部 図 書 館	[1]	6
— 文学・映像課	文 学 ・ 映 像 課 長	1	0
	— 文 書 資 料 係	4	4
	— 古 文 書 係	2	4
	— 映 像 係	2	2
	— 文 化 資 料 活 用 係	3	3
合 計		31	101

()は非常勤特別職で外数 1
[]は短時間再任用職員で外数 10

令和6年度

総 館 長

館 長

運 営 課

図書サービス課

文学・映像課

運 営 課 長

運 営 係

企 画 係

図 書 サービス 課 長

管 理 調 整 係

読 書 活 動 支 援 係

図 書 資 料 係

東 図 書 館

和 白 図 書 館

博 多 図 書 館

博 多 南 図 書 館

中 央 図 書 館

南 図 書 館

城 南 図 書 館

早 良 図 書 館

早 良 南 図 書 館

西 図 書 館

西 部 図 書 館

文 学 ・ 映 像 課 長

文 書 資 料 係

古 文 書 係

映 像 係

文 化 資 料 活 用 係

合 計

人員

内 訳	
職員数	会計年度 任用職員数
(1)	0
1	0
	0
1	0
4	1
4	1
1	0
3	0
[1]	8
3	22
0	0
[1]	6
[1]	6
[1]	6
[1]	7
[1]	6
[1]	7
[1]	6
[1]	6
0	0
[1]	6
[1]	6
1	0
8	4
6	4
4	2
6	3
143	31
	101

()は非常勤特別職で外数 1

[]は短時間再任用職員で外数 10